

豊島区



東アジア文化都市 2019豊島
Culture City of East Asia 2019 Toshima

はらはら、どきどき、文化がいっぱい。



平成31年度予算案重点事業



ILLUSTRATION: 久野 遥子
東アジア文化都市2019豊島プロモーション映像より



わたしらしく、
暮らせるまち。



TOSHIMA
International City
of Arts & Culture
国際アート・カルチャー都市としま

index

31年度予算案の規模と特徴	2
31年度新規・拡充事業の規模と特徴	3

2019目玉プロジェクト

■文化によるまちづくり【東アジア文化都市関連】

(1) いよいよ開幕！東アジア文化都市2019豊島	4
(2)街づくり記念事業 進行中！	6

■子どもと女性にやさしいまちづくり

(3)待機児童ゼロ 3年連続継続に向けて	12
(4)小さな公園活用プロジェクト	13

■高齢社会対策と健康

(5)高齢社会に向けた「としま総合戦略」	14
(6)池袋保健所の移転	17

■地方との共生

(7)秩父市との連携	18
------------	----

- ※ 本資料における新規・拡充事業は、全新規・拡充事業の中から抜粋したものです。
- ※ 施設整備事業で新規・拡充事業ではない継続事業も掲載しています。

各分野別の重点事業

1. 持続発展都市をさらに推進する対策の4つの柱

(1) 女性にやさしいまちづくり	19
① 待機児童対策	20
② 出産前からの切れ目ない子育て支援	21
③ 子どもの虐待・貧困対策	22
④ わたしらしく、暮らせるまち	23
(2) 高齢になっても元気で住み続けられるまち	24
(3) 様々な地域との共生	27
(4) 魅力あるまちづくり「国際アート・カルチャー都市」	
① 文化戦略	29
② 国際戦略	30
③ 空間戦略	31

2. 次世代教育プログラムの展開

3. 安全・安心なまちづくり

4. 多文化共生

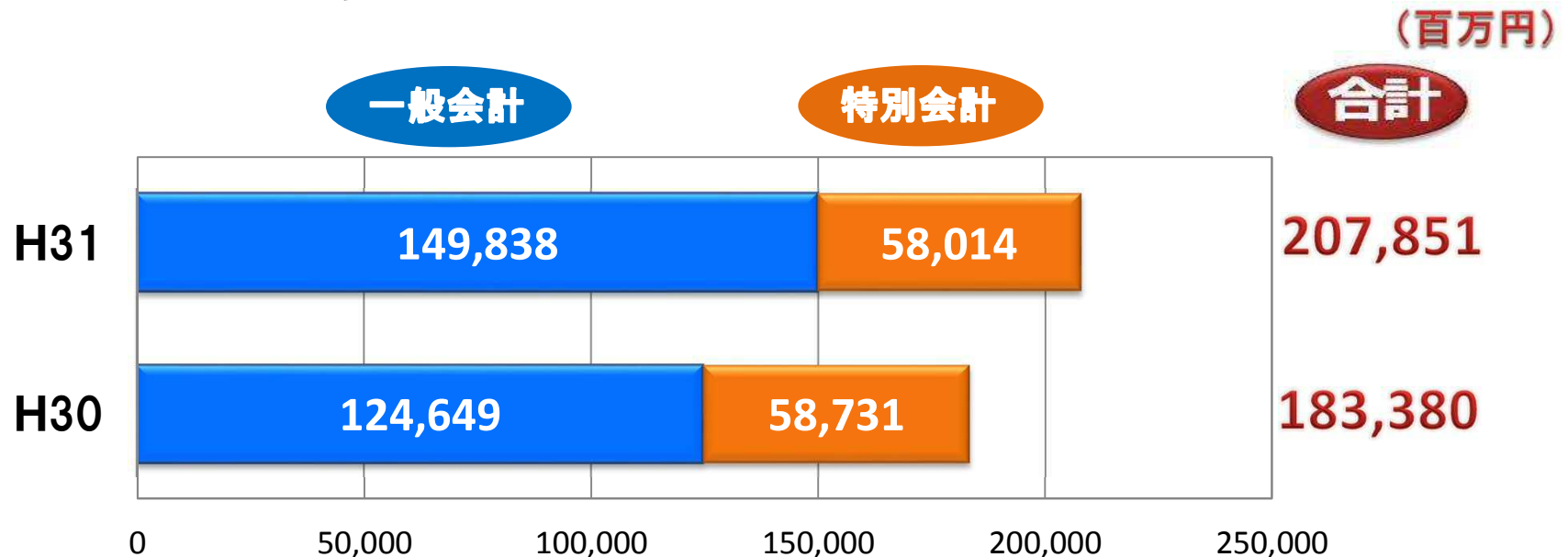
5. その他の特色ある事業

【参考】公益財団法人 としま未来文化財団事業	41
------------------------	----

31年度予算案の規模と特徴

一般会計当初予算 1,498億3千8百万円

対前年度比 251億8千9百万円 20.2%増



○特別会計を含めた総財政規模 2,079億円、一般会計予算額 1,498億円ともに**過去最大**

○まちづくりに集中投資、豊島区の価値を高め「としま新時代」へ飛躍する予算

○6年連続で財政調整基金の取り崩しをせずに予算を編成

*区民生活を支える行政サービスに必要な事業経費は、しっかりと確保

*財政調整基金の取り崩しを行わない安定した予算編成

*納税義務者数がここ5年間で約19,500人の増加、過去最高額の300億円の税収

*詳しくは 別添「豊島区当初予算(案)」の概要 参照

31年度新規・拡充事業の規模と特徴

全276事業、約59億2千万円

◎前年度(30年度):223事業、約62億1千万円（比較2億9千万円減）

◎持続発展都市対策関連 139事業、45億3千万円(全体の7割)

★目玉事業

1. 文化によるまちづくり

- 開幕した東アジア文化都市2019豊島、はらはらどきどきの1年！ ⇒ 3億2千万円
- 新たな賑わいとまちの価値を高めるまちづくり事業に集中投資！ ※継続事業(22事業 249億1千万円)

2. 待機児童対策

- 3年連続の待機児童ゼロへ！定員増加と良質な保育環境を確保 ⇒ 12事業 16億5千万円

3. 高齢社会対策

- 日本一の高齢者にやさしいまちへ、高齢社会「としま総合戦略」 ⇒ 19事業 2億3千万円

持続発展都市をさらに推進する対策の4つの柱

子どもと女性	<p>65事業 約22億9千万円</p> <p>◆ 待機児童対策 ◆ 虐待・貧困対策 等</p>	高齢社会	<p>33事業 約2億9千万円</p> <p>◆ 高齢社会に向けた総合戦略</p>	地方との連携	<p>2事業 約6百万円</p> <p>◆ 秩父市との共生推進事業</p>	魅力あるまちづくり 国際アート・カルチャー都市	<p>39事業 約19億4千万円</p> <p>◆ 文化戦略 ◆ 国際戦略 ◆ 空間戦略</p>
--------	--	------	---	--------	---	----------------------------	--

※上記事業数、事業費には、分野を重複する事業を含みます

いよいよ開幕！東アジア文化都市2019豊島 国際舞台へ！としま新時代の到来

2月1日の開幕式典から、11月24日閉幕式典まで、「舞台芸術」「マンガ・アニメ」「祭事・芸能」の3つの柱を中心に、文化イベントを開催！「はらはら、どきどき、文化がいっぱい」の一年間の幕開けです。

東アジア文化都市推進事業【拡充】3億2,245万円 ⇒30ページ

オールとしまで
盛り上げよう！



1 マンガ・アニメの聖地 という豊島区のブランディングを確立します。

PRアニメを活用し、「誰もが主役になれる街・池袋」を世界に向けて発信します。世界を席巻するカルチャー「コスプレ」や世界標準のマンガ・アニメイベントをよりパワーアップして展開します。



ILLUSTRATION: 久野 通子
東アジア文化都市2019豊島プロモーション映像より

提供: 池袋ハロウィンコスプレフェス
2018 /niconico

2 中国、韓国、日本の舞台芸術を開催し文化交流します。



中国国家話劇院「リチャード三世」



韓国国立劇団「ホッコちゃん」



マハーバーラタ
～東アジア文化都市2019豊島バージョン～

3 中韓交流の視点の事業を様々な分野横断して展開します。

三つの柱以外にも、様々な分野での展開を図ります。また区のすべての施策との連携を行います。

←パラアート展→



←アート・オリンピア

4 気運醸成と区民参加を図り、オールとしまを実現します。



区民のみなさんには、イベント等に参加いただく他に主体となって事業を実施できるよう、提案事業を公募しました。広報連携にも多くの区民、企業のみなさんに協力いただいています。

東アジア発信事業
(限度額300万円)については
26件の申請から12件を採択。

全員参加事業
(限度額30万円)については
66件の申請から55件を採択。

5 子どもたちの参加を促し、次の時代を担う人材を育成します。



10000人で歌う「わたし未来」プロジェクト



Photo: 引地信彦

子どもに見せたい舞台



子どもスキップまつり

子どもに見せたい舞台など、次の時代を担う子どもを対象にしたイベントを充実させます。
1万人で歌う「わたしは未来」プロジェクトでは、区内の小中学生をはじめとして日中韓の子もたちで日中韓の心をつなぐ歌「わたしは未来」を大合唱することで、3か国の相互理解を促進させます。

6 年間を通じて各所で開催されているイベントも、装いを新たに

日中韓交流の視点をとりいれ、持続可能な事業展開を図ります。

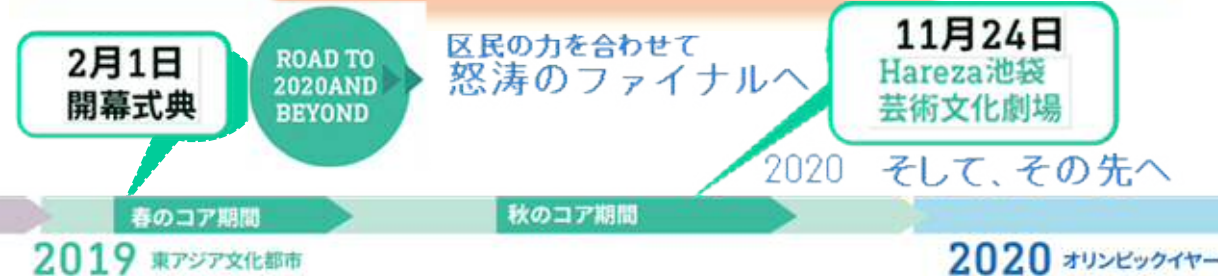


Photo: Takashi Fujikawa



Photo: 赤坂久美

7 東京2020大会への気運を醸成し、さらなるステップアップへ



2/1 開幕式典



開幕式典記念撮影



仁川市立舞踏団による韓国舞踊



中国西安市による尺八独奏



豊島区によるアニケストラ

新たなにぎわいを生む 街づくり記念事業進行中！

計画的に
集中投資！

未来へのレガシー・文化で街が変わる！

池袋を中心に区内各地で多くのまちづくり事業が進んでいます。新たなにぎわいと価値を生み出し、街を変え、未来へのレガシーとなるものです。2019年、2020年までの完成を目指します。「としま持続発展都市」として大変革を遂げ、「国際アート・カルチャー都市」の新たなステージへ着実に、その歩みを進めています。



東アジア文化都市2019豊島
まちづくり記念事業 (22事業)

◆31年度 事業費
249億1千万円【継続事業】

事業名・事業費

Hareza池袋

- 芸術文化劇場 83.9億円
- としま区民センター 60.6億円
- オフィス棟 区の予算なし
- 南北区道 (寺町) 2.1億円
- 南北区道 (寺町以外) 2.2億円

4つの公園

- 中池袋公園 2.1億円
- 池袋西口公園 26.4億円
- 造幣局地区防災公園 36.1億円
- 池袋駅前緑地システム (電気バス) 1.9億円
- ウイロードの改修 1.0億円
- 仮称マンガの基地としまミュージアム 6.5億円
- 池袋保健所の移転 (仮移転) 3.2億円
- 池袋保健所見守り舎の活用 H-BI諸社なし
- 池袋東西連絡デッキ 3億円
- 大塚駅周辺整備 (北口) 2.6億円
- 美都地区通りの無電柱化 3.9億円
- 学習院春の坂無電柱化 1.5億円
- 鎌倉の城跡エレベーター (自由古道) H-BI諸社なし
- 高田小学校跡地公園 5億円
- アートトイシ 4.7億円
- グリーン大通りの再生 1.7億円
- 観光案内標識の整備 0.8億円

◆ Hareza池袋

－2019年 1000万人の新たなにぎわいが生まれる－

2019年11月1日
オープン!



公民連携で取り組むハレザ池袋プロジェクト。「芸術文化劇場」と「としま区民センター」が11月1日にオープンします。

「芸術文化劇場」では、東アジア文化都市閉幕式典などを経た後、12月3日から宝塚歌劇星組公演を皮切りに、翌年9月の松竹歌舞伎まで、こけら落としシリーズとして「演劇」「ミュージカル」「バレエ」「伝統芸能」「コンサート」など様々なジャンルのプログラムを展開します。

「としま区民センター」では大型モニターを設置した多目的ホール、女性にやさしい「トイレ&メイクルーム」、「パママ☆すぽっと」、多言語対応の「インフォメーションセンター」「チケットセンター」などでお迎えます（区民センターのホールオープンは2020年1月中旬）。

2020年7月、33階建のハレザタワーのオフィスや大規模シネマコンプレックスを含む全エリアが、グランドオープンします。

[8つの劇場]



HAREZA
IKEBUKURO

■施設建設事業費

- ・芸術文化劇場
総額 83.9億円
(31年度 上記同額)
⇒30ページ
- ・としま区民センター
総額 77.8億円
(31年度 60億6,311万円)
⇒30ページ



工事中のHareza池袋

芸術文化劇場開館記念式典事業【新規】1億7,400万円 ⇒29ページ

インフォメーションセンター整備事業【新規】3,000万円 ⇒30ページ

としまチケットセンター運営事業【新規】4,000万円 ⇒29ページ

◆池袋駅周辺の公園整備

－個性ある4つの公園が街を変える！－

2019年11月16日
オープン！

○池袋西口公園



2019年11月16日、池袋西口公園がリニューアルオープンします。地元イベントからフルオーケストラまで対応できる機能や多言語対応のインフォメーションカフェを備え、日常は憩いの場、災害時は一時待機場所となります。大型ビジョンも備え、東京2020大会のライブサイトにも指定されています。

31年度は、整備工事のほか、大型ビジョンのコンテンツ制作や、周辺の道路工事を予定しています。

- 工事期間 平成30年11月～平成31年10月
- 施設建設事業費 総額 29.9億円
(31年度 26億4,207万円)
⇒31ページ



池袋西口公園管理運営事業【新規】 1億1,978万円 ⇒31ページ

○（仮称）造幣局地区防災公園

区全体の防災拠点となる区内最大の公園(17,000㎡)が2020年春にオープンします。31年度は、公園整備と防災拠点に必要となる防災資器材を購入します。

- 工事期間
平成31年4月～平成32年5月
- 施設建設事業費
総額 135.3億円
(31年度 36億1,157万円)
⇒31ページ



造幣局跡地防災公園整備(防災資器材)【新規】 4,170万円 ⇒35ページ

○中池袋公園

2019年9月
オープン！

「Hareza池袋」の一体的なデザインと、平坦でフラットな石張り舗装の公園が、2019年9月にオープンします。新たな賑わい創出のイベントを開催して、アニメの整備を世界に発信していきます。

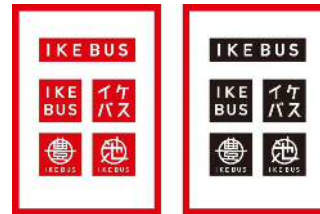
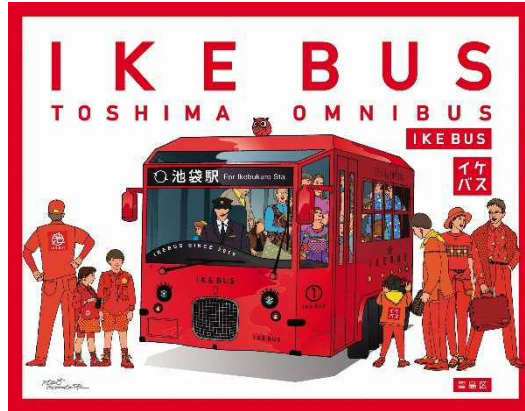
- 工事期間
平成30年11月
～平成31年8月
- 施設建設事業費
総額 3.9億円
(31年度 2億1,142万円)
⇒31ページ



中池袋公園管理運営事業【新規】 2,377万円 ⇒31ページ

◆真っ赤な電気バス-環境と観光のシンボル 始動！-

2019年11月
始動！



ロゴのパターン

愛称は **IKEBUS(イケバス)**に決定！

2019年11月、ハレザ池袋のオープンにあわせ、真っ赤な電気バスの運行を開始します！愛称は、応募総数72件の中からIKEBUS(イケバス)に決定！31年度は、ルートの実行計画の検討や運営事業者（ウィラー）とまちづくり団体の連携による事業推進を行います。

■施設整備事業費

総額 4.4億円

(31年度 1億8,900万円)

⇒31ページ

池袋副都心移動システム推進事業【新規】 6,668万円 ⇒31ページ

◆WE ROAD (ウィロード) の再生



ウィロードを色で表現したアート空間へ再生します。公開制作は3月から、完成は10月末です。美術作家の植田志保さんが、歴史を紐解き、区民との対話を重ね、感受したことを壁や天井に色で表現します。

■工事期間

平成30年9月
～平成31年10月

■施設建設事業費

総額3.6億円
(31年度 9,986万円)

⇒31ページ

◆大塚駅周辺整備 (北口)



大塚駅北口周辺のリニューアルに着手します。誰もが安全で安心して利用できる駅前空間を創出します。31年度は工事に着手、駅前広場の完成は32年度、周辺道路の完成は33年度以降を予定しています。

■工事期間

平成31年9月
～平成33年度以降

■施設建設事業費

総額20.0億円
(31年度 2億5,663万円)

⇒31ページ

◆ (仮称) マンガの聖地としまミュージアムー トキワ荘復元ー

2020年3月22日
オープン!



区と地域の悲願！トキワ荘を再現したミュージアムが平成31年1月15日に着工しました。
トキワ荘は、手塚治虫、藤子不二雄[Ⓐ]、藤子・F・不二雄、石ノ森章太郎、赤塚不二夫ら、現代マンガ・アニメの礎を築いた巨匠が住み集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパートです。
昭和57年の解体から、トキワ荘が時を超えてよみがえります。

- ◆建設場所：南長崎花咲公園内（南長崎3-9-22）
- ◆外観：昭和57年に解体されたトキワ荘を再現。寄附銘板をミュージアムアプローチに設置
- ◆展示概要：
 - 1階…トキワ荘やマンガ関連の書籍、デジタル映像、マンガ家メッセージ・イラスト等の展示、企画展示室
 - 2階…トキワ荘ゆかりのマンガ家の部屋を再現。常設展示室、記念撮影スポット



アニメの原点はマンガ、
マンガの原点はトキワ荘



昭和57年解体…
あの「トキワ荘」がよみがえる



撮影：向さすけ

■施設整備事業費

総額 9.6億円 (31年度 6億9,382万円)
※公園、トイレ建替え経費含む

寄附金募集中！多くの皆様からの寄附で2億7千万円を超えました！（1/30現在）

○ふるさと納税（個人）	： 558件	110,074,331円
○法人の寄付	： 149件	166,544,000円
○合計	： 707件	276,618,331円

◆3万円以上の寄附の方：銘板に名前を記載

(仮称)マンガの聖地としまミュージアム運営事業【新規】 7,462万円 ⇒29ページ

2つのアニメで「アニメの聖地・池袋」を発信中！

世界とつながるキーワードは『マンガとアニメ』

豊島区が持つ他の都市にない大きな強みや特徴として、マンガとアニメをメインカルチャーのひとつに位置づけ、国際アートカルチャー都市文化戦略として推進しています。

◆「東アジア文化都市2019豊島PRアニメ」公開中！

区内在住の少女・しまこちゃんが、区の歴史と魅力を発見していく物語。しまこちゃんの見聞で様々な魅力を実写、アニメーション手法「ロトスコープ」で表現しています。「はらはら、どきどき」とした少女の冒険をいきいきと描いており、見覚えのあるスポットもたくさん登場します。

◆アニメーション監督 久野瑤子 ◆実写監督 山下敦弘



ILLUSTRATION: 久野 瑤子
東アジア文化都市2019豊島プロモーション映像より

◆池袋PRアニメ 公開中！

区は(株)アニメイトと池袋PRアニメを共同制作。2020年の近未来の池袋を舞台に、ひとりの少女がふくろうの化身に導かれて成長を遂げるストーリーで、「誰もが主役になれる街・池袋」の魅力を描いています。アニメファン必見の本格作品です。

◆監督 高津幸央 ◆出演 蒼井翔太 ◆アニメーション制作 シャフト



©豊島区・アニメイト

◆アニメイベントで まちににぎわいを

アニメーションの国際映画祭やアニメイベントなどでまちを盛り上げます。

東京アニメアワードフェスティバル2019
FESTIVAL OF THE ANIME CAPITAL



©TAAFEC. All Rights Reserved.

国際アニメーション映画祭
『東京アニメアワードフェスティバル2019』
3月8日～11日開催！！



「池袋ハロウィンコスプレフェスティバル」より
マンガ・アニメ・コスプレから伝統芸能まで
秋の一大イベント
『池袋オータムカルチャーフェスティバル』

待機児童ゼロ 3年連続継続に向けて！

—毎年、認可保育所10園新設—

豊島区は2年連続で待機児童ゼロを達成しました。また、一昨年末には、民間調査で「共働き子育てしやすい街」ランキングで全国総合1位を獲得しました。保育需要が伸び続けているなかで、待機児童ゼロを連続で達成するために、平成31年度も、認可保育所10園の新設を図ります。また、「保育の質」の向上のために、小学校と連携した園児への校庭開放や、適正な運営に向けた実地検査、ベテラン保育士の巡回アドバイスなど、良質な保育環境確保のための指導を強化しています。

待機児童対策関係12事業 16億4,774万円 ⇒20ページ

[地域の子育てをサポート]

◆一時的に預けたい！区立保育園一時保育事業の拡大！

ご家庭での保育が一時的に困難になったときに、お子さんをお預かりする一時保育の実施園を8園に拡大します。

区立保育園一時保育事業 528万円【拡充】 ⇒20ページ

◆保育園を身近に・・・マイ保育園事業10月スタート！

妊娠中の方から在宅育児家庭に至る方までを対象に、住まいに近い区立保育園を「マイ保育園」と位置づけ、安心して出産し子育てができる環境の充実を図ります。

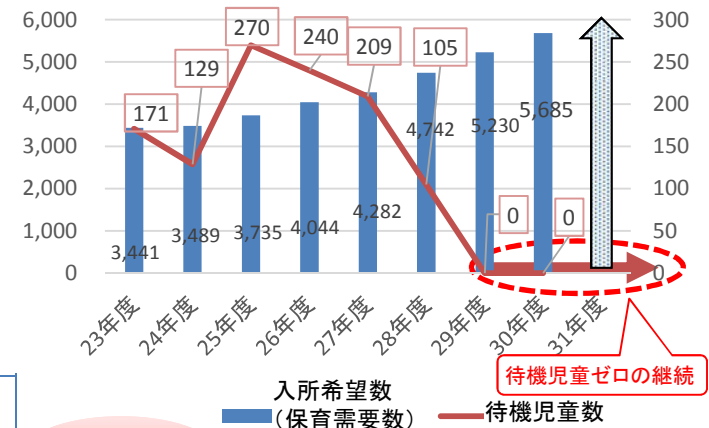
マイ保育園事業 60万円【拡充】 ⇒20ページ

◆発達支援事業における相談体制の充実！

増加している児童発達相談にきめ細やかな支援を行うため、非常勤職員の増員と発達専門相談員（作業療法士）による専門相談回数を増加し、相談体制の充実を図ります。

発達支援事業における相談体制の充実事業 1,112万円【拡充】 ⇒21ページ

伸びていく保育需要数と待機児童数



これまでの取り組み

- 25年度 定員384名増(小規模5園ほか)
- 26年度 定員407名増(認可2園・小規模7園ほか)
- 27年度 定員922名増(認可10園・小規模6園)
- 28年度 定員699名増(認可10園ほか)
- 29年度 定員723名増(認可13園)
- 30年度 定員428名増(認可7園)



小さな公園活用プロジェクト・みんなで育てる！

中小規模公園活用プロジェクト モデル整備事業【新規】 400万円 ⇒23ページ

地域の中小規模の公園は、子どもの遊び場、憩いの場、にぎわい創出の場など、ファミリー・子育て世代をはじめ、地域には欠かせない空間です。地域住民とともに、新たなコミュニティの場として活用するプロジェクトを実施しています。31年度は区内のモデル公園で活用事業を展開します。

23区で一人当たりの公園面積が一番小さい豊島区が、23区で最も新しい公園活用を提案します！

■施設整備事業費 総額 0.3億円 (31年度 3,003万円) ⇒23ページ



公園で紙芝居



公園について考え、育てる「井戸端かいぎ」



HINODE MARKET

◆アートトイレ プロジェクト

区内の公園等のトイレ133か所のうち85か所を31年度までに改修します！

この改修にあわせトイレの外観や内観のデザインを、地域で活躍する若手アーティストや地域の子どもからお年寄りまで幅広い住民と協働でトイレアートを展開しています。

■施設整備事業費（公園トイレ改修事業）

総額 9.8億円
(31年度 4億7,151万円)
⇒23ページ



◆トイレ清掃を毎日実施！

公園のトイレを毎日清掃することで、使いやすいトイレを推進します。また、平成29年以降に建て替えたトイレのうち特に利用の多い場所は1日2回清掃します。

新規施設等園内清掃及び便所清掃事業
4,548万円【拡充】 ⇒23ページ

平成30年10月1日から公園の全面禁煙 実施中！

子どもを受動喫煙から守り、子育て環境をさらに向上させることを目的として、区内公園等の全面禁煙化を実施しています。



高齢社会に向けた「としま総合戦略」

日本一の“高齢者にやさしいまち”
生涯自分らしく暮らせるまちへ



総合高齢社会対策プロジェクト関係19事業 2億3,042万円 ⇒25ページ、26ページ

人口密度日本一の豊島区は、一人暮らし高齢者の割合も日本一である。一人暮らしは「**社会的孤立**」を生みやすく、社会的孤立は不健康や消費者被害、生活の質の低下などにつながる。



豊島区はこれまでの"文化"や"子育て"での成功をステップに、分野横断・総合的な取り組みにより「**社会的孤立**」の解消を目指し、全区を挙げて「**生涯自分らしく暮らせるまち**」を実現していく。

一人暮らし高齢者の割合 日本一

※ 高齢者人口に占める一人暮らしの割合

75歳以上		65歳以上	
• ①豊島区	37.0%	• ①渋谷区	34.7%
• ②渋谷区	35.4%	• ②豊島区	33.8%
• ③杉並区	35.3%	• ③新宿区	33.4%
• ④新宿区	35.2%	• ④杉並区	32.8%
• ⑤千代田区	35.2%	• ⑤中野区	32.4%
• 全国平均	19.8%	• 全国平均	17.7%

2015年国勢調査（町村・行政区を除く）

区長を本部長とするプロジェクト本部

区民参加の「オールとしま」推進体制

第1弾「社会とつながる30のアプローチ」

第2弾「エイジフレンドリーシティ挑戦」

日本一の“高齢者にやさしいまち”へ

豊島区ならではの都市型モデルを全国に発信！

★対策第1弾「社会とつながる30のアプローチ」

＜2019～2020年度の取り組み＞

★区民参加の推進協議会による「オールとしま」推進体制

区民、町会、民生委員・児童委員、高齢者クラブ、障害者団体、青少年育成委員、保護司、スポーツ団体、医療関係者、社会福祉法人、民間企業、NPO法人、警察、消防、大学等が参加する推進協議会を設置し、「オールとしま」による推進体制を構築

健康

【取組方針】

- ・身近な地域での健康づくりの促進
- ・疾病等の早期対応による重症化予防

「フレイル対策センターの整備」
「ポリファーマシー対策の推進」など10の対策

安全・安心

【取組方針】

- ・いざという時の相談支援体制の充実
- ・一人暮らしでも安全・安心のまちづくり

「福祉包括化推進体制の整備」
「在宅医療連携体制の強化」など10の対策

文化・コミュニティ

【取組方針】

- ・支え合いの地域づくりの促進
- ・住みたい魅力あるまちづくりの推進

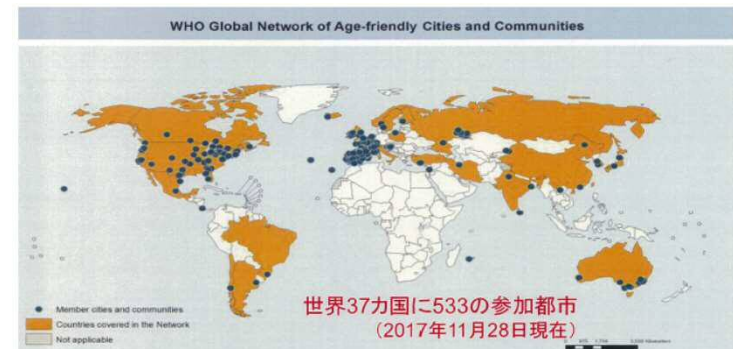
「コミュニティソーシャルワーカーの強化」
「地域区民ひろばの充実」など10の対策

★対策第2弾「エイジフレンドリーシティへの挑戦」

＜2021～2025年度の行動計画策定＞

「エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしいまち)」とは、世界的に進行する高齢化に対応するため、高齢者にやさしいまちがあらゆる世代にやさしいまちになるという趣旨のもと、WHO(世界保健機関)が2007年に提唱したプロジェクトである。

豊島区はWHOグローバルネットワークに参加し、他都市と切磋琢磨しながら、**世界基準の”高齢者にやさしいまち”**を実現していく。



出典: WHO健康開発総合研究センター「WHOの高齢化と健康への取り組み」

[重点事業]

◆総合高齢社会対策の第1弾！「フレイル対策センター」5月オープン

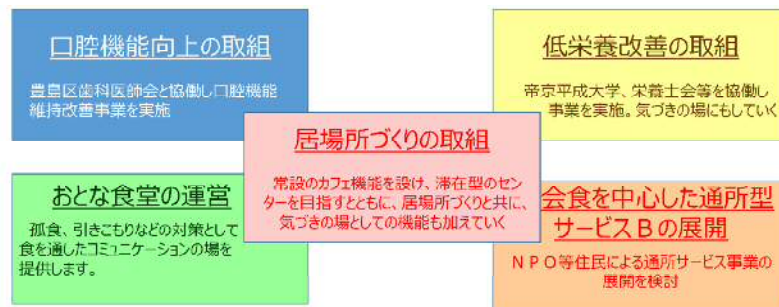
フレイル対策センター運営事業 2,252万円【新規】⇒25ページ

平成31年5月、旧東池袋豊寿園跡地にフレイル対策センターを開設します。

生涯に渡り、はつらつと活躍できる社会を実現するため、要介護状態の一手手前のフレイル（虚弱）対策を推進し、高齢者が担い手としても活躍できる施設をめざします。

栄養、体力・運動機能の維持、社会参加など、フレイル予防に着目した事業を行います。特に、食や口腔機能維持など「口」に関する取り組みを推進するとともに、高齢者の居場所や気づきの場としての機能も備え、社会的孤立を防止します。

【施設の特徴】



◆薬の過剰摂取を防止して健康に！ポリファーマシー対策

ポリファーマシー(多剤服用)対策事業 852万円【新規3課合計】⇒26ページ

複数の医療機関に受診されている場合、同様の効果の薬が処方されていて過剰摂取をしてしまうなどの問題が起こる場合があります。そこで、複数の処方薬を服用されている、70歳から74歳までの国民健康保険加入者と生活保護を受給されている方に対し、「服薬情報のお知らせ」を通知します。通知を受けた方は、ご自身の服薬情報の確認と多剤併用等に関する個別相談を受けることができます。

75歳の後期高齢者になる前に、多剤併用や過剰服薬等による健康被害の発生を防ぐことができると同時に、自らが服薬治療に携わるという積極的な姿勢を持つことも効果として期待できます。

保健所機能を拡充！秋に造幣局跡地へ仮移転

今後の社会変化や健康へのニーズを見据え、より一層の区民の健康増進や安全・安心な公衆衛生の実現のため、池袋保健所の移転計画を進めています。

仮施設から保健施策の充実、健康情報の発信、大規模災害への備え、区民サービスおよび利便性の向上など、池袋保健所の機能を拡充します。

- ◆仮移転場所：造幣局跡地市街地南地区の一部3,500㎡
- ◆移転後の土地活用：土地・建物を売却し施設移転経費に充当。
ハレザ池袋エリアのにぎわいを推進
(公募プロポーザル実施中)

■施設整備事業費（仮移転経費）

総額 17.0億円

(31年度 3億1,536万円) ⇒21ページ

池袋保健所仮移転関係事業【拡充】 49万円 ⇒21ページ



①平成31年度秋

⇒造幣局跡地に仮移転

②平成36年度

⇒南池袋二丁目C地区の再開発ビルに本移転

外観イメージ

豊島区と秩父市で挑戦！まちの元気をつくる



◆全国的モデルとなる二地域居住のあり方の検討 —豊島区・秩父市版生涯活躍のまちづくり—

人口を奪い合わない移住・交流促進事業を推進することで、区民のライフスタイルの選択肢拡大を図り、豊かな生活を実現できるまちづくりを進めつつ、豊島区・秩父市の活性化につなげていきます。特に、秩父市の「サービス付高齢者向け住宅」の開設に向けて、秩父市への移住後も、移住前の行政サービスが受けられるよう、二地域居住のあり方の検討を進めていきます。



サービス付高齢者向け住宅



お試し居住住宅

地方との共生推進事業【拡充】 108万円 ⇒27ページ

◆秩父市の森林整備に着手！ 自治体間連携によるカーボン・オフセット事業

秩父市との連携によるカーボン・オフセット事業を実施します。区が秩父市に整備する森林で吸収するCO₂と豊島区内で発生するCO₂を相殺するとともに、森林を活用したダイナミックな自然体験を伴う環境交流事業を実施し、区民への環境教育を促進します。森林整備は平成31年度から段階的に拡大していきます。



秩父市の森林整備候補地

※自治体間連携によるカーボン・オフセット

都市部の日常生活や事業活動に伴う温室効果ガスの一部を、森林を多く有する自治体との連携による森林整備をおこなうことで、温室効果ガスの排出削減・吸収価値を創出し、埋め合わせすること。

自治体間連携によるカーボン・オフセット事業【新規】520万円
⇒27ページ

各分野の重点事業

1. 持続発展都市に向けた対策の4つの柱 (1)女性にやさしいまちづくり



子育てしやすいまち豊島

質の高い保育への取り組み

保育園の増設だけでなく、「保育の質」向上にも力を入れています。園庭のない保育園も多いため、小学校との連携による校庭開放で子どもたちの体力づくりを応援します。

また、安全・安心な保育の提供のため、区のベテラン保育士が巡回指導を実施しています。



保育園巡回指導の様子

子ども若者総合相談「アスとしま」

子どもや若者の悩みは、いじめ、引きこもり、非行、ニート問題など多岐にわたります。問題が長期化・複合化している場合もあり「どこに相談したらいいかわからない」という悩みも増えています。

そこで、2018年7月、区役所4Fに、概ね39歳までの子ども若者総合相談窓口「アスとしま」を設けました。出張相談も実施しており、福祉、教育、医療、雇用など様々な関係機関と連携し、問題解決に向けて支援します。

いろいろなライフスタイルを楽しむための情報発信サイト



HP: <http://toshima-scope.city/>
FB: @toshimascope



区役所4F「アスとしま」



わたしらしく、暮らせるまち。

「わたしらしく、暮らせるまち。」



としまぐらし会議プロジェクト



昨年度、「未来の豊島を、みんなで作る、作戦カイギ。」として区民・企業・大学・行政などによる「としまぐらし会議」を開催し、それぞれが主体的に地域課題を解決するためのアクションプランをチームごとに策定しました。今後、各取り組みを支援していくとともに、新たな担い手の創出に取り組んでいきます。



遊休地を活用し、土に触れ、交流の場をつくる「農縁公園」



多世代交流の場を作る「みそのわ」

FFパートナーシップ協定

※ F Fとは、Female/Family Friendly (女性/ファミリーにやさしい) の略

女性や子育て世代、働く世代を主な対象に、区・民間事業者それぞれの強みを活かしたノウハウやリソースを活用し、様々な分野において連携していきます。

【協定締結団体 (※締結順)】

- ・(株)そごう・西武 西武池袋本店
- ・(株)東武百貨店池袋本店
- ・(株)サンシャインシティ
- ・(株)ルミネ池袋店
- ・(株)良品計画
- ・(株)池袋ショッピングパーク
- ・(一財)日本気象協会
- ・(株)自由学園サービス
- ・(株)婦人之友社
- ・東京第一友の会



店舗内優先エレベーターの共同企画

「わたしらしく、暮らせるまち。」推進事業【拡充】1,737万円

12 事業

16億4,774万円

① 待機児童対策

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
保健所機能拡充検討事業(池袋保健所仮移転関係事業)	拡充	493	池袋保健所の仮移転及び本移転に伴い、住民サービスの向上を目的として保健所機能のあり方について整理・検討をするため、「保健所機能拡充検討会議」を設置します。	地域保健課
新生児聴覚検査事業	新規	6,569	妊婦健診と同様に、医療機関で検査が受けられる仕組みを構築し、検査費用の公費負担を新たに行います。	健康推進課
母親学級・パパママ準備教室事業	拡充	3,299	働く女性のために、平日に実施していた母親学級を新たに土・日に実施します。また、パパママ準備教室の申し込み増加に対応するため、回数を増やし、土・日に実施します。	
ようこそ新米ママのひろば事業	拡充	573	生後4か月未満の乳児及びその保育者を対象として新たに育児教室を開催します。乳児の成長と母体の健康状態を確認し、育児不安を軽減するとともに母親のリフレッシュの機会を提供します。	
私立幼稚園就園奨励費補助金<補助限度額引上分>	拡充	3,864	私立幼稚園(子ども・子育て支援新制度移行園を除く)に通園する園児の保護者を対象に、所得状況に応じて、経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間の保護者負担格差の是正を図るため補助金を交付します。	子育て支援課
私立幼稚園等入園料補助事業	拡充	11,940	区市町村民税所得割額が42万円以下の世帯で私立幼稚園等に通園する園児の保護者に対し入園料を補助します。保護者の経済的負担を軽減するため、補助額を園児1名あたり30,000円から50,000円へ増額します。	
発達支援事業における相談体制の充実事業	拡充	11,115	近年急増している発達障害の相談事業に従事する子ども家庭支援ワーカー(非常勤)を2名から5名に増員します。また、発達障害専門相談員(作業療法士)による相談を月3回追加します。	
育児支援ヘルパー拡充事業	拡充	3,904	育児支援ヘルパー派遣事業者を2社から3社とし、育児・家事の援助を行うヘルパーを派遣できる時間を年間約580時間拡大することにより、育児に課題を抱える家庭に対して、きめ細やかなサービスを提供し、養育支援の充実を図ります。	
子どもの権利推進事業	拡充	799	子どもの権利条例に基づく計画策定の検討の中で、他の計画と統合して子ども若者に関する総合計画として策定することとなったため、策定期間を平成30年度の1年から、31年度までの2年間とする。これに伴い、会議を2回から8回へ増やします。	
子ども・若者支援ネットワーク連携事業	拡充	150	子ども食堂や無料学習支援等の支援団体の交流イベントを年1回開催し、支援内容の違う団体の連携を図ります。また、支援者向けに個人情報保護法や子ども・若者支援の専門知識などの研修会を年2回実施します。	子ども若者課
若者自立支援事業	新規	414	ひきこもり等の若者の就労体験の機会を提供するため、中高生センタージャンプ長崎の日常清掃のうち、日曜日の清掃を若者の自立支援を行う団体に委託します。	
ジャンプ未来のトキワ荘プロジェクト事業	拡充	462	中高生のトキワ荘に対する関心を高めるため、中高生センタージャンプにまんがやアニメを揃えます。また、アニメ・ゲームの専門学校やクリエイターなどと連携し、講座やイベントなどを開催することで中高生がアニメ・ゲームの作り手として活動することを支援します。	
学校給食調理員等のノロウィルス検査等の実施事業	拡充	6,642	法改正により努力義務とされた給食調理員のノロウィルス検査や白衣の専門業者クリーニングを委託業者に義務づけることで、学校給食の衛生管理を強化します。	学務課
<p>その他関連事業…幼児教育無償化事業(新規・5,156千円・保育課)/ファミリー・サポート・センター援助会員の報酬上乘せ等の拡充事業(拡充・4,319千円・子育て支援課)/プレーパーク事業(拡充・3,726千円・子ども若者課)/特別な支援を要する子どもに対する教育の充実事業(幼稚園特別支援非常勤職員)(拡充・2,810千円・学務課)/子育て支援住宅整備事業(新規・2,000千円・住宅課)/巡回子育て発達相談事業(拡充・1,440千円・子育て支援課)/私立幼稚園就園奨励費補助金<幼児教育の無償化>(拡充・497千円・子育て支援課)/老朽化に伴う給食用備品の購入事業(拡充・5,651千円・学務課)</p> <p>【参考】既存継続事業</p>				
池袋保健所仮移転関係事業	施	315,361	現池袋保健所の老朽化、新区民センターの建築等による周辺環境の変化を踏まえ、現保健所を造幣局地区防災公園隣の敷地に仮移転します。将来的には、南池袋の再開発ビルに本移転します。	地域保健課長

21 事業
7,582万円

② 出産前からの切れ目ない子育て支援

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
私立保育所に対する保育委託及び助成事業	拡充	1,293,990	平成31年度より認可保育所を運営する事業者運営に係る経費を支弁します。	保育政策担当課長
保育従事職員宿舎借上支援事業	拡充	224,147	保育士・保育従事者職員の宿舎の借上げを行う私立保育園の事業者に対し、借上げに要する経費を補助します。	
キャリアアップ補助・保育サービス推進事業	拡充	83,480	保育士等のキャリアアップに取り組む費用や保育サービスの向上を図る取組に要する費用を補助します。	
保育業務支援システム導入事業	拡充	30,000	新規開設園や、ICTを導入していない園(私立保育園13園、地域型保育事業1施設、認証保育所1施設)に対し、業務支援システムの導入経費を補助します。	
保育の質向上のための研修委託事業	拡充	1,705	民間保育施設の保育士を対象とした研修を実施します。	
民営化推進事業	新規	675	区立保育園3園を民営化するため、事業者選定審査会を開催するとともに、運営事業者の財務診断を行います(平成33年度予定1園)。	
地域型保育事業の冊子作成事業	拡充	400	地域型保育事業の特徴を紹介する冊子を作成し、保護者に配布することで、地域型保育事業の利用者を増やします。	
区立保育園一時保育事業	拡充	5,281	区立保育園一時保育事業の実施園を現在の6園(定員各園1名)から2園(定員各1名)拡充し、8園(定員各1名)で実施し、利用しやすい環境を整えます。	保育課長
区立保育園第三者評価委託事業	拡充	4,620	全区立保育園において、3年ごとに1回、都の認証を受けた民間評価機関に委託して第三者評価を実施します。平成31年度は7園での実施を予定しています。	
区立保育園調理員等に従事する職員等のノロウイルス検査委託事業	拡充	2,244	厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルの改訂を受け、小規模調理施設である区立保育所でも当該マニュアルに準じ、職員(園長、副園長、看護師、栄養士、調理員、0歳児保育従事者)に対するノロウイルス検査を行います。	
保育の質ガイドライン関係事業	拡充	601	「保育の質ガイドライン」の普及・啓発を図るため、冊子を作成・配布し、ホームページ等に掲載するとともに、保育施設職員等を対象に講演会を開催します。	
マイ保育園事業	拡充	596	これまで公立保育園19園で実施してきた地域支援事業に加え、より妊婦とそのパートナーを意識した事業を展開するとともに、かかりつけ制(登録制)を導入し、発展的にマイ保育園事業として実施します。	
【参考】既存関連事業(継続)				
私立保育所誘致関係事業(新規開設分)	継続	1,083,553	認可保育所運営事業者に対し、開設準備経費や認可移行にかかる改修経費の補助を行います。平成31年度は10園を見込んでいます。	保育政策担当課長
民間保育施設改修等整備事業(既存園分)	継続	929,165	老朽化により施設改修や改築を要する西池袋そらいろ保育園やアンソレイユ保育園などへの施設整備経費の補助を行います。	保育政策担当課長

5 事業
2,025万円

③ 子どもの虐待・貧困対策

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
心理職員育成・児童相談所職員派遣事業	拡充	3,787	平成34年中の児童相談所開設に向け採用された心理職員を育成するために、外部講師（心理職アドバイザー）に助言・指導を依頼します。（週1回で年間51回・4時間程度） ② 児童相談所業務に必要な知識や技術を習得するため、現行の東京都、近隣県に加え、遠方自治体へ職員を派遣するにあたり、宿舍賃借料と帰庁旅費を負担します。	子育て支援課
子どもの権利擁護事業	拡充	720	公認心理師もしくは臨床心理士の有資格者を子どもの権利擁護委員として新たに1名増員し、専門的見地から助言指導、調査調整、是正要請等を行います。	
としま子ども食堂ネットワーク事業	拡充	2,400	区内の子ども食堂運営団体からの東京都に対する「子供食堂推進事業」補助金の申請を取りまとめ、区を経由して交付します。平成31年度は10団体の申請を予定しています。	子ども若者課
就学援助の入学支度金増額事業 (小学校就学援助費・中学校就学援助費)	拡充	13,326	生活保護世帯への入学支度金支給額が引き上げされたことに伴い、生活保護世帯に準じた世帯への就学援助の支給額も引き上げます。	学務課
中等度難聴児発達支援事業	拡充	12	身体障害者手帳の交付対象とならない、18歳未満の児童が使用するデジタル式補聴器について、一定の条件を備えた申請があった場合に、助成金額を2,000円上乘せします。	障害福祉課
【参考】既存関連事業(継続)				
長崎健康相談所・児童相談所等複合施設 改築関係事業	継続	149,394	長崎健康相談所を改築し、児童相談所等との複合施設とします。平成30～31年度に地上部解体工事を行い、引き続き平成31～34年度まで地下部解体・新築工事を行います。	長崎健康相談所長 子育て支援課

9事業

1億4,725万円

④ わたしらしく、暮らせるまち。

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
「わたしらしく、暮らせるまち。」推進事業	拡充	17,369	「わたしらしく、暮らせるまち。」を基本コンセプトに、住みやすく、働きやすい、誰もが自分らしく暮らせるまちとしての、ブランディングを展開していきます。地域メディア「としまscope」の運営や住民協働プロジェクト「としまぐらし会議」など、公民連携による事業を展開していきます。	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長
中小規模公園活用プロジェクトモデル整備事業	新規	4,000	中小規模公園の価値を引き出し、まちや人と「ともに育つ公園」を目指します。平成31年度は公園活用に関するワークショップやトライアルイベントを実施するとともに、地域との対話の場づくり、地域担い手とのリレーション構築など地域主体による公園活用に向けて取り組んでいきます。	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長 公園緑地課
新規施設等園内清掃及び便所清掃事業	拡充	45,481	トイレが設置されている公園・児童遊園等のうち124施設の園内清掃及びトイレ清掃の回数を従来の週5・6日から毎日清掃とすることで、公園の美化を推進し、女性や子どもでも安心して使用できるトイレ環境を整備します。また、平成29年度以降においてトイレを建替えた公園・児童遊園のうち、特に利用の多い26か所については、1日2回の清掃を実施し、より快適に使用できる環境を整備します。	公園緑地課
公園等防犯カメラ整備事業	新規	8,000	都の補助金を活用し、死角の生まれやすい比較的大きな公園に防犯カメラを設置することで、子どもや女性がより安心して利用できる公園を作ります。平成31年度は、10公園に1台程度、防犯カメラを設置します。	
体育館トイレ等緊急改善推進事業	新規	15,200	小中学校及び幼稚園の体育館トイレや外部トイレなどの洋式化改修を行います。また改築校の和式トイレも洋式化します。	学校施設課
女性の健康支援事業	拡充	407	女性の健康支援の充実を図ることを目的として、より幅広い年代を対象とした個別相談や各種講座、講演会等を実施します。	健康推進課
子育てファミリー世帯家賃助成事業	拡充	15,420	区内のひとり親世帯の多くが、最低居住面積水準以下の民間賃貸住宅に居住している実態があるため、補助額を、1～3年目の補助対象者は15,000⇒25,000円、4年目以降の対象者は7,500円⇒12,500円に引き上げることで、良質な民間賃貸住宅への誘導を図ります。	住宅課
空き家活用事業	拡充	11,344	空き家改修等に要する費用の補助金制度を新たに創設し、経済的インセンティブによる空き家対策を推進します。また、非常勤職員（1名）を活用し、空き家活用セミナー開催及び事業の周知啓発を実施します。	
【施設整備】中小規模公園活用プロジェクトモデル整備事業	新規	30,031	区内の中小規模公園を改修し、公園の価値を向上させ、子育てしやすい街、国際アート・カルチャー都市に相応しい公園に再生します。平成31年度は2箇所の公園改修を予定しています。	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長 公園緑地課

【参考】既存関連事業(継続)

公園トイレ等改修事業	継続	471,511	公園等にあるトイレ133か所のうち、建替え及び改修を要する約85か所を平成29年度から31年度までの3か年で改修していきます。改修にあたっては、アーティストによるラッピング装飾や保育園児が参加するワークショップなど様々な手法でトイレアートも展開します。	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長 公園緑地課
------------	----	---------	--	-------------------------------

高齢社会に向けた「としま総合戦略」

目玉事業⇒14~16ページ

— 日本一の“高齢者にやさしいまち”〈生涯自分らしく暮らせるまち〉へ —

目玉事業以外の関連事業

介護予防事業の効果検証 地域区民ひろばと連携強化

介護予防センター運営事業【拡充】 911万円

介護予防事業の効果検証の実施や、区民ひろば等、関係機関との連携をさらに強化し、介護予防の取り組みを総合的かつ継続的に支援するため、介護予防の情報提供や人材育成等の支援、魅力ある事業展開等区民の介護予防の取組を総合的かつ継続的に支援するため運営委託費を増額します。



介護人材育成のための研修受講費用を補助

介護人材育成経費補助事業【拡充】 752万円

介護人材の確保や介護職員のキャリアアップに資する取組を支援し、サービス向上を図るため、介護人材の育成に係る研修受講費用の補助を行います。

高齢者等が円滑に入居できる仕組みを整備

住宅確保要配慮者賃貸住宅供給促進事業【新規】 195万円

住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の供給促進を図るため、家賃低廉化補助、家賃債務保証料補助を行います。



19 事業
2億3,042万円

(2) 高齢になっても元気で住み続けられるまち

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
総合高齢社会対策プロジェクト関係事業	新規	11,525	本格的な高齢社会の到来を見据え、世代や分野を超えた総合的な高齢社会対策を推進し、持続発展都市である豊島区ならではの「生涯自分らしく暮らせるまち」を実現するため、区民等が参加する推進協議会を設置するなど、「オールとしま」による推進体制を構築していきます。	福祉総務課
福祉包括化推進事業	新規	7,400	制度の狭間の課題や複合的な課題を抱える相談者等に対する関係各課、関係機関によるチームアプローチをコーディネートするため、区職員及び社協職員の複数名を「福祉包括化推進員」に任命するとともに「福祉包括化推進会議」を設置します。	
旧朝日中学校跡地特別養護老人ホーム等整備事業（高齢者福祉基盤等整備費助成事業）	新規	27,828	旧朝日中学校跡地に特別養護老人ホームを中心とする複合施設を整備していきます。	
フレイル対策センター運営事業	新規	22,517	要介護状態一步手前のフレイル（虚弱）を予防するため、フィジカルフレイル機能（介護予防機能）、カフェ機能（居場所と気づきの場）、おとな食堂機能、認知症対応機能（認知症カフェ等）、相談機能、通所型サービス機能などを有するフレイル対策センターを、旧東池袋豊寿園跡地に平成31年5月に開設します。	高齢者福祉課
一般介護予防事業評価事業【介護保険事業会計】	拡充	1,000	毎年65歳以上の要介護認定を受けていない区民に対して実施している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」について、対象者を3,000人から4,500人に拡大します。	
地域包括支援センター運営事業（高齢者総合相談センター運営事業）【介護保険事業会計】	拡充	84,131	各地域包括支援センターにおける委託業務増加を踏まえ、非常勤1名分相当額の委託料を増額します。	
地域包括支援センター支援システム導入事業（高齢者総合相談センター運営事業）【介護保険事業会計】	拡充	36,533	各地域包括支援センターに支援システムを導入します。紙媒体である相談記録台帳を電子化し、各センターと高齢者福祉課においてリアルタイムで情報共有を行うことにより、事務量削減と、区の保険者としての機能強化を図ります。	
地域包括支援センター支援システム導入工事（高齢者総合相談センター運営事業）【一般会計分】	拡充	4,911		
認知症ケア向上推進事業【介護保険事業会計】	拡充	600	認知症カフェを月2回以上実施している運営者に対し、補助金を増額します。 初年度（年額）：20万円→26万円 翌年度以降（年額）：12万円→18万円	
認知症早期診断・早期対応事業	拡充	418	区民公開講座普及啓発に要する経費及び認知症サポート医養成講座の受講費用を豊島区医師会に対して補助します。	
主任介護支援専門員育成事業	新規	3,380	居宅介護支援事業所の管理者要件が主任介護支援員に変更された事に伴い、急増が見込まれる主任介護支援員の質を一定水準に担保し地域のケアマネジメント力を向上するため、研修会を実施します。	
生活支援体制整備事業【介護保険事業会計】	拡充	1,564	平成30年4月から実施された「総合事業基準緩和サービス」に従事する区民を育成するため、研修会を開催します。	

(2) 高齢になっても元気で住み続けられるまち

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
介護予防センター運営事業 【介護保険事業会計】	拡充	9,114	介護予防事業の効果検証の実施や、区民ひろば等、関係機関との連携をさらに強化し、介護予防の取り組みを総合的かつ継続的に支援するため、介護予防の情報提供や人材育成等の支援、魅力ある事業展開等区民の介護予防の取組を総合的かつ継続的に支援するため運営委託費を増額します。	高齢者福祉課
介護人材育成経費補助事業 【介護保険事業会計】	拡充	7,520	介護人材の確保や介護職員のキャリアアップに資する取組を支援し、サービスの質の向上を図るため、介護人材の育成に係る研修受講費用の補助を行います。	介護保険課
障害者等歯科診療事業	拡充	574	障害者等の歯科診療に検査・測定機器を購入し、あぜりあ歯科診療所に設置します。	地域保健課
高齢者の服薬情報提供事業（ポリファーマシー《多剤併用》対策事業） 【国民健康保険事業会計】	新規	3,000	70～74歳の国民健康保険被保険者及び生活保護受給者のうち、多剤服用の方を対象に服薬情報を提供することで、多剤併用者に対する専門家による個別相談へ促し、服薬過剰を回避することで健康増進を図ります。また同時に、生活保護受給者のうち、特定が困難な「指定難病」対象者を「見える化」することで、適切な医療費助成制度の受給指導に繋ぎ、生活保護法における医療扶助の適正化を進めます。	国民健康保険課
高齢者の服薬情報提供及び指定難病分析事業（ポリファーマシー《多剤併用》対策事業）	新規	3,410		生活福祉課
多剤併用者に対する服薬相談委託事業（ポリファーマシー《多剤併用》対策事業）	新規	2,112		地域保健課
保健所機能拡充検討事業（池袋保健所仮移転関係事業）	拡充	493	※再掲（21ページ参照）	地域保健課
住宅確保要配慮者賃貸住宅供給促進事業	新規	1,950	住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の供給促進を図るため、家賃低廉化補助、家賃債務保証料補助を行います。	住宅課
高齢者自転車ヘルメット購入補助事業	拡充	440	セーフコミュニティ推進事業の一環として、子どもに対して自転車ヘルメットの普及啓発を行っていたが、高齢者の事故数が多いというデータを受け、対象を拡大し、65歳以上の区民を対象として、ヘルメット1個につき、2,000円購入補助を行います。	土木管理課

【参考】既存継続事業

高齢者福祉基盤等整備費助成事業	施	28,030	池袋四丁目に所在する特別養護老人ホーム養浩荘を池袋本町一丁目区有地に移転整備する社会福祉法人に対し、整備費等の一部を補助します。（平成31年6月開設予定、50床→60床）	福祉総務課
池袋保健所仮移転関係事業	施	315,361	※再掲（21ページ参照）	地域保健課

※その他「高齢になっても元気で住み続けられるまち」関連事業・・・14事業、5,936万円

2事業
629万円

持続発展都市をさらに推進する対策の4つの柱 (3)様々な地域との共生

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
地方との共生推進事業	拡充	1,084	人口を奪い合わない移住・交流促進事業の推進により、区民のライフスタイルの選択肢拡大を図り、豊かな生活を実現できるまちづくりを進めつつ豊島区・秩父市の活性化につなげていきます。特に秩父市の「サービス付き高齢者向け住宅」の開設に向けて、二地域居住のあり方の検討を進めていきます。	企画課
自治体間連携によるカーボン・オフセット事業	新規	5,204	区が秩父市で森林整備（間伐・植林等）を行い、CO2吸収量の増加を図ります。また、CO2吸収量の認証結果を公表し、カーボン・オフセット（二酸化炭素の埋め合わせ）を図ることで、区民や区内事業者等の環境行動を促進します。さらに、植林や下刈り等の自然体験を伴う環境交流事業を実施し、区民への環境教育を推進します。	環境政策課

1. 持続発展都市に向けた対策の4つの柱 (4)魅力あるまちづくり「国際アート・カルチャー都市」

東アジア文化都市開催を契機に「国際アート・カルチャー都市」が花開く

文化戦略

Hareza池袋 —2019年、1000万人の新たなにぎわいが生まれる—
2019年11月1日オープン!



トキワ荘を再現したミュージアムオープン!

2020/3/22
開館!



ふるさと納税
で全国から
多額の寄付!

2階には著名なマンガ家の部屋を再現!

東アジア文化都市2019 としま区民センターに
豊島で日中韓の文化交流 多言語対応の

⇒P4参照

インフォメーション
センター開設



東アジア
文化都市
Culture City of East Asia 2018 Tohshima
2019 Tohshima



外国人観光客
に多言語で
ご案内



英語版

インバウンド向け
マップをWEBでも!

国際的イベント
を開催!



東京アニメアワード
フェスティバル2019
©TAAAFEC. All Rights Reserved.

国際戦略

空間戦略

公園が変わる! 劇場空間が生まれる

9月、中池袋公園が
リニューアルオープン
マンガ・コスプレの聖地に!



11月、池袋西口公園が
劇場公園として
リニューアルオープン!



2019年11月、電気バス
がいよいよ始動!

歩行者優先のまちづくり



歩行者優先化する南北区道

15事業
11億7,169万円

① 文化戦略

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額(千円)	事業概要	担当課長(携帯電話)
芸術文化劇場関係事業	拡充	446,023	国際アート・カルチャー都市のシンボル、また、池袋東口地区のにぎわい拠点である芸術文化劇場を運営する、としま未来文化財団に対する指定管理委託料を計上します。多彩な公演の招致、ワークショップ・講座の開催などによる文化の担い手の育成等を行います。	劇場運営担当課長
芸術文化劇場開館記念式典事業	新規	174,003	11月に、Hareza池袋のプレオープンと位置づけ、芸術文化劇場の開館記念式典を開催します。東アジア文化都市の閉幕と同時期のため、著名なアーティストの記念公演等を実施する予定です。また平成32年9月までをこけら落としシリーズ期間と位置づけ、区民の鑑賞機会充実のため、区主催事業を実施します。	
(仮称)マンガの聖地としまミュージアム運営事業	新規	74,616	(仮称)マンガの聖地としまミュージアムのオープン(平成32年3月22日)に向け、展示品の制作や備品の調整等を行います。マンガ・アニメ文化に思いを寄せる多くの方に愛される施設となるよう、地域の方やマンガ関係者が参画する検討会議において、運営や展示、マンガによるまちづくりを検討していきます。ミュージアムオープン時には、内覧会やオープニングイベント、開設特別企画展示などを行います。	マンガ・アニメ活用担当課長
(仮称)マンガの聖地としまミュージアム開設に伴うトキワ荘通りお休み処及び南長崎マンガステーション改修事業	拡充	1,620	(仮称)マンガの聖地としまミュージアム開設に合わせ、「トキワ荘通りお休み処」と「南長崎マンガステーション」の機能を再構築し、改修します	
マンガ・アニメ等を活用した観光事業	拡充	12,300	マンガ・アニメ・サブカルチャーでまちづくりを行っている中野区・杉並区並びに東京商工会議所各支部(中野・杉並・豊島)も参画する実行委員会を組織し、共同でイベントや情報発信を行います。(仮称)マンガの聖地としまミュージアムを整備する南長崎とアニメの聖地 池袋をつなぐマンガ・アニメイベントを行い、ミュージアムオープンに向け気運醸成を図ります。	
南長崎マンガランド事業	新規	6,956	トキワ荘ゆかりの地への玄関口となる東長崎駅南口に、デジタルサイネージを設置し、マンガ・アニメや地域イベント等の情報発信を行います。	
インターネットを活用した寄附キャンペーン実施事業	新規	4,018	平成30年9月から引き続き、ふるさと納税サイトを活用して(仮称)マンガの聖地としまミュージアムの施設整備経費及び運営経費の寄附募集を行います。3万円以上の寄附者はミュージアムアプローチの銘板に名前を記載します。	
国際アート・カルチャー都市推進事業	拡充	20,000	平成30年度に試行実施した国際アート・カルチャー特命大使の自主企画事業を、東アジア文化都市における区民参加事業として本格実施していきます。また、都市構想を広く国内外に知ってもらうため、ホームページ等の媒体の他、SNSを活用し、情報発信の強化を図ります。都市構想の主要な推進体制である「都市プロデューサー」、「都市懇話会委員」、「アフター・ザ・シアター」、「特命大使」の事業運営を充実させ、実現戦略のさらなる進展を図ります。	国際アート・カルチャー都市推進室長
としまチケットセンター運営事業	新規	40,000	平成31年の東アジア文化都市2019豊島、芸術文化劇場オープン、32年の東京2020オリンピック・パラリンピック等への取組みに向けて、各事業・催し物のチケット販売とそれに伴う顧客管理業務を充実させます。チケット購入者のもとより、芸術文化事業の主体者への利便性を向上させることを目的として、現在の「としまチケットセンター」の機能を一新していきます。	劇場運営担当課長
公益財団法人としま未来文化財団事業経費の助成	新規	20,000	公益財団法人としま未来文化財団が芸術文化劇場こけら落としシリーズ期間に実施する事業経費を助成します。コンドルズを主宰し「にゅ〜盆踊り」でおなじみの近藤良平氏に、区民も出演者として参加する新作公演を委嘱し、広く区民が文化に触れる機会を創出します。出演のためのワークショップを定期的に開催するとともに、SNS等の多くの媒体にて区民をはじめ日本全国に豊島区の文化政策を発信します。	文化デザイン課
「幻の貝塚」発見に伴う埋蔵文化財調査事業	拡充	8,676	平成29年度に発見された「幻の貝塚」の遺物等について、整理作業を実施します。併せて、整理作業の成果を公表し、普及啓発事業や、学校向けの教育事業を通じて、豊島区の歴史ある風土の魅力を広く発信していきます。整理作業と他の埋蔵文化財調査増加への対応のため、非常勤職員を1名雇用します。	庶務課

その他関連事業…観光イベント支援事業(拡充・6,000千円・文化観光課)／雑司ヶ谷鬼子母神防災設備更新事業(拡充・5,000千円・庶務課)／「長崎獅子舞」継承活動強化事業(拡充・1,672千円・庶務課)／としま区民センター管理運営(拡充・350,803千円・生活産業課)

① 文化戦略

【参考】既存継続事業

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯電話)
(仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備事業	継続	646,010	トキワ荘の再現施設を「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム」として平成32年3月22日にオープンします。30年1月から工事に着手し、展示物の制作を進めます。(左記金額には、公園トイレ立替経費を含みません)	マンガ・アニメ活用担当課長
庁舎跡地活用における芸術文化劇場の整備	継続	8,392,844	Hareza池袋の中核施設である「芸術文化劇場」を民間ビル内に建設し、区の文化創造拠点及び池袋駅東口地区のにぎわい拠点を創出します。平成31年4月竣工、11月の開館に向けた劇場及び各種備品の購入経費を計上します。	劇場運営担当課長
としま区民センター改築事業	継続	6,063,109	老朽化した区民センターを改築します。庁舎跡地の活用、芸術文化劇場の建設と合わせ、生活産業プラザと一体的な整備を図ることで、新たな「文化とにぎわいによる交流拠点」の形成に寄与します。	生活産業課

8 事業

3億8,171万円

② 国際戦略

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯電話)
東アジア文化都市推進事業	拡充	322,448	東アジア文化都市とは、日中韓3か国から毎年1都市ずつ選定し、文化交流を行う国家プロジェクトです。平成31年開催都市の豊島区は中国西安市、韓国仁川広域市とともに年間を通じて文化交流事業を行います。東アジア文化都市2019豊島では、豊島区が新たな発信拠点として注目される「マンガ・アニメ」や、豊島区で盛んな「舞台芸術」「祭事・芸能」を柱に、新規事業や日中韓交流事業を行い、文化を担う人材の育成、国際理解、多文化共生を推進します。	東アジア文化都市推進担当課長
多文化共生推進事業	拡充	3,979	※再掲 (38ページ参照)	多文化共生推進担当課長
としま区民センター内インフォメーションセンター整備事業	新規	30,000	としま区民センター内に豊島区、交流都市等の観光案内情報の提供や多言語に対応するインフォメーションセンターを設置し、国内外の観光客への利便性を向上させます。他にもタブレット端末を用いた翻訳サービス、手荷物預かりなど観光客等のストレスフリーの案内機能を整備します。	文化観光課
TACT Festival in Tokyo 2019開催支援事業	新規	11,880	東京芸術劇場を中心に音楽、演劇、ダンス等のアーティストが世界から集い、子どもたちも楽しめる作品を上映するフェスティバル「TACT Festival in Tokyo 2019」の開催を支援します。東アジア文化都市2019豊島の一環として中国・韓国に関連したプログラムも実施します。	劇場運営担当課長
インバウンド冊子発行事業	拡充	2,160	世界108都市39か国で発行実績のある外国人目線に即したインバウンド冊子 (Time Out) の池袋版の英語、中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語を発行しており、平成31年度は、英語のweb版を作成することで、利用者の利便性を更に向上させます。	文化観光課
エリアWi-Fi構築事業	拡充	7,975	外国人旅行者をはじめとした来街者のニーズに合わせ、区内の「TOSHIMA Free Wi-Fi」の屋外接続ポイントを増設します。平成31年度は、リニューアルオープンする中池袋公園や、32年3月にオープンする (仮称) マンガの聖地としまミュージアム周辺に増設します。	情報管理課 文化観光課
海外メディアへのプレスリリース事業	新規	1,872	「東アジア文化都市2019豊島」の開催や、それに伴い開催される様々な文化イベント、またHareza池袋のプレオープン、池袋西口公園のリニューアルオープンなど、池袋駅を中心としたまちづくりが大きく進む中、区の魅力を世界に発信するため、海外メディア向けにプレスツアーやリリースを実施していきます。	広報課

その他関連事業…観光振興事業(拡充・1,400千円・文化観光課)

8 事業
3億4,515万円

③ 空間戦略

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額(千円)	事業概要	担当課長(携帯電話)
池袋西口公園管理運営事業	新規	119,782	池袋西口公園は、舞台、音楽会、ダンスなど様々な用途に対応できる本格的な野外劇場と大型ビジョン、ひろばが一体となった他に例のない全く新しい公園空間となります。多彩なイベントを開催し、文化の発信拠点としてまちのにぎわいを創出できるよう、公園の運営を行っていきます。	劇場運営担当課長
池袋西口公園維持管理事業	新規	25,905	池袋西口公園のリニューアル後の適正な維持管理を行います。新たに設置する水景施設等のメンテナンス、安全・安心な公園利用を図るため巡回警備を強化します。	公園計画 特命担当課長
中池袋公園管理運営事業	新規	23,771	中池袋公園のリニューアルオープン後、指定管理者による公園の適正な維持管理を行うとともに、賑わい創出のためのイベントや巡回警備を実施します。	
池袋駅周辺地域街区再編まちづくり事業	拡充	5,000	池袋駅周辺エリアにおいて、街並み再生地区やまちづくり計画を定め、地域ルールにもとづいた再開発を誘導するため、街区再編まちづくりの調査・検討を行います。	再開発担当課長
池袋副都心移動システム推進事業	新規	66,680	電気バスによる新たな移動システムを2019年11月に運行開始します。リニューアルや新規にできる4つの公園などを回遊します。区と運営事業者、まちづくり団体が連携し、事業を行います。	交通・基盤担当課長
池袋副都心再生推進事業	拡充	15,400	池袋駅周辺エリアのまちづくりを推進するため、「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」や「基盤整備方針」に基づき、コアゾーン整備指針の検討やデッキ・駅前広場・バスターミナルなどの空間整備計画の検討を継続的にいきます。	
池袋副都心交通戦略推進事業	拡充	13,352	昨年5月に策定した「基盤整備方針」を踏まえながら、5月に「池袋副都心交通戦略」を更新するとともに、南北区道の歩行者優先化、池袋駅東口広場再編に向けた検討など、交通ネットワーク体系の総合的な検討を継続的にいきます。	
観光案内標識整備事業	拡充	75,256	ハレザ池袋や4つの公園、(仮称)マンガの聖地としまミュージアム等の整備に合わせ、新規4基、更新15基の案内標識と10基の矢羽標識を設置します。	文化観光課

【参考】既存継続事業

公園の整備事業	継続	6,968,291	池袋西口公園、中池袋公園を整備し、平成31年秋にリニューアルオープンします。高田小跡地(雑司が谷公園)を整備します。造幣局跡地は、用地購入、整備工事を行います。	公園計画 特命担当課長
庁舎跡地・新庁舎周辺道路整備事業	継続	429,946	庁舎跡地周辺及び新庁舎周辺の2つのにぎわい拠点を結ぶ南北軸の再整備を行います。	道路整備課
大塚駅周辺整備事業	継続	256,628	大塚駅北口駅前広場の再編整備や駅周辺区道の改修を進めることで、交通結節機能の向上を図るとともに、南北自由通路と連続する歩行者に優しい、ひと中心の駅前空間を創出します。	
池袋副都心移動システム推進事業	継続	189,000	LRT整備構想を見据えた移動システムとして、観光客や交通弱者を対象とする環境に配慮した移動手段として電気バスを運行します。	交通・基盤担当課長
道路構造物の整備事業	継続	111,541	「明るく、きれい、女性に安心、快適性」をキーワードに、ウイロードの再生と美術作家による公開描画を行います。道路構造物の点検と補修作業を行います。(左記事業費のうちウイロード改修分:99,860千円)	道路整備課

※その他「国際アート・カルチャー都市」関連事業・・・8事業、4,455万円

2. 次世代教育プログラムの展開

平成31年度中に冷暖房未設置の24校すべてに設置

区立学校の全体育館
に冷暖房を完備



豊島区では、平成31年度中にすべての区立小中学校の体育館に冷暖房を整備し、酷暑による熱中症などを防ぎます。

学校の体育館は授業や部活動だけでなく、放課後や休日にも様々な場面で利用されており、災害時には避難所にもなります。冷暖房を設置することで、児童・生徒や区民が安心して過ごすことができる環境を全校で整えます。



体育館冷暖房設置事業【新規】2億1,832万円

「働き方改革」を進め
教育の質の維持向上を！

出退勤管理システムを導入し、「教員の働き方改革」を推進

教育活動の充実が求められる中、教員の役割が拡大し、長時間労働が課題となっています。

豊島区では、学校で働く教員一人一人が、心と体を健康に保ち、誇りとやりがいをもって職務に従事できるようにするため、「教員の働き方改革」を進めていきます。その一環として、在校時間を客観的に把握・集計し、各教職員のタイムマネジメントに対する意識を高めるため、出退勤管理システムを導入します。



教員の働き方改革事業【新規】4,000万円

18 事業
4億4,950万円

2. 次世代教育プログラムの展開

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額(千円)	事業概要	担当課長(携帯電話)
学校施設の長寿命化計画策定事業	拡充	6,800	「学校施設の長寿命化計画」策定に向けた建物基礎調査を実施します。	学校施設課長 (080-9864-0593)
豊島区教育ビジョンの改定事業	拡充	1,501	現行の教育ビジョンについて、新たな課題に対応するため、前倒して「新教育ビジョン」を策定します。	庶務課長 (080-9864-0527)
教育情報セキュリティ環境整備事業	新規	105,043	区長部局における情報セキュリティ強化対策は実施済ですが、学校環境の対策は未実施のため、文科省のセキュリティポリシーに関するガイドラインに基づき、学校の情報セキュリティの強化対策を実施します。	
子どもたちの教育環境整備事業	拡充	3,856	グランドピアノの耐用年数は35年程度ですが、購入から40年以上経過しているものが小・中学校合わせて21台あり、学校からの買い替えの要望に応じて、順次グランドピアノの更新を行います。	学務課長 (080-9864-0592)
次期学習指導要領の実施に向けた英語教育充実事業	拡充	4,325	次期学習指導要領の完全実施に向けて、小学校5・6年生のALT(外国語指導助手)配置時間数を年間50時間から70時間に増やします。	指導課長 (080-9864-0633)
教員の働き方改革事業(出退勤管理)	新規	40,000	教員の働き方改革の一環として、東京都の補助金を活用し、勤務時間や休暇等を把握・集計できる出退勤管理システムを導入します。	
インターナショナルセーフスクール推進事業	拡充	4,432	安全な教育環境づくりに取り組む学校に認められる国際認証「インターナショナルセーフスクール」に向け、平成31年度は清和小学校が新規認証取得を目指します。	
オリンピック・パラリンピック教育推進事業	拡充	8,400	東京都の委託金を活用し、全区立幼稚園、小・中学校を対象にオリンピック・パラリンピックの歴史や文化に触れる授業を実施します。	
スクール・サポート・スタッフ配置事業	拡充	25,278	スクール・サポート・スタッフとして臨時職員を雇用し、教員の補助業務(学習プリントの印刷・配布、授業準備、採点業務など)を行います。また、区独自で交通費を支給し、適切な人員確保に努めます。	
コミュニティ・スクール導入等促進事業	拡充	900	学校と地域の連携・協働を促進することを目的として、コミュニティ・スクール導入に向けたモデル事業を実施します。	
【施設整備】体育館冷暖房設置事業	新規	218,322	平成31年度中に、区立小中学校24校の体育館へ冷暖房設備を導入します。全ての学校で児童・生徒が安心して学校生活を送ることができる環境が整うとともに、災害時の救援センターとしての機能の向上が見込めます。	学校施設課長 (080-9864-0593)
【施設整備】体育館トイレ等緊急改善推進事業	新規	15,200	※再掲(23ページ参照)	

その他関連事業…オルガン鑑賞会事業(新規・1,875千円・指導課長)/学校防犯カメラH Dの更新事業(拡充・6,630千円・学務課長)/小学校通学路安全対策事業(拡充・2,121千円・学務課長)/体育館空調機整備事業(新規・4,818千円・放課後対策課長)

3. 安全・安心なまちづくり

としまセーフシティ作戦

喫煙防止のパトロール巡回を公園周辺部分に拡大！



公園禁煙化による喫煙場所の減少等の影響により、路上喫煙者の増加が懸念されるため、パトロール巡回を公園周辺部分にも拡大します。また、池袋駅周辺での路上喫煙・ポイ捨て防止の周知啓発活動を時間延長して実施します。

路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業【拡充】 773万円
路上喫煙・ポイ捨て防止事業(啓発)【拡充】 245万円

区全体の防災の拠点へ！

造幣局跡地防災公園に防災資器材を整備



想定される首都直下地震等に備え、区全体の防災拠点となる造幣局跡地防災公園の整備にあわせ、災害時非常用発電機、投光機などの防災資器材を整備します。

造幣局跡地防災公園整備事業
(防災資器材整備)【新規】 4,170万円



みんなで作る セーフコミュニティとしま！

豊島区は、平成24年に、東京で初、日本全国で5番目にセーフコミュニティの認証を取得しました。29年11月には審査員による現地審査が行われ、30年2月に再認証を取得しました。これを新たなスタートとして、さらに区民と協働し、けがや事故、災害の予防に努め、暮らしの安全・安心を高めていきます。



「セーフコミュニティ」と
「インターナショナルセーフスクール」の両輪で
「安全・安心な学校とまちづくり」を実現！

インターナショナルセーフスクールの全校化

中学校ブロックで1校以上の認証を目指し、
安全・安心な学校づくりを推進！



平成30年度までの小学校6校、中学校1校の認証校に加え、清和小学校が新規認証取得を目指します。

これにより、全中学校ブロックで推進校が1校以上となり、中学校ブロック内で活動成果を広げ、区内小・中学校における安全・安心な学校づくりに向けた取り組みの全校化を目指します。

インターナショナルセーフスクール推進事業【拡充】 443万円

18 事業
1億3,955万円

3. 安全・安心なまちづくり

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
I P無線設備整備事業	拡充	11,621	平成30年度に現在の防災行政無線(移動系)の通信状況の解析を実施したところ、著しく不安定であることが判明したため、より充実した防災対策のため新規施設や発災時の帰宅困難者対応も視野に入れ、必要な施設等に確実に通信が行えるI P無線機器を導入します。	防災危機管理課
J - A L E R Tに係る情報伝達機器の更新事業	拡充	2,350	平成30年度末をもって、現在の全国瞬時警報システム(J - A L E R T)受信機のソフトウェアがサポート終了となるため、新システムに対応した受信機に更新します。	危機管理担当課長
備蓄倉庫の備蓄物資の移転・整理事業	拡充	3,233	平成31年6月に上池袋備蓄倉庫が利用可能となるに伴い、搬入出も容易な同倉庫を十分に活用するため、既存の備蓄倉庫内の備蓄物資の移転・整理を実施します。	防災危機管理課
防災・救命対策普及啓発関係事業(感震ブレーカーの設置助成)	拡充	2,600	大地震の際の停電復旧時に発生する火災の予防対策に有効な手段として、地震発生時に自動的に電気の供給を遮断する「感震ブレーカー」を、特に火災危険度の高い地域を対象として戸別訪問を行うなどの普及啓発を行いながら、設置助成を行います。簡易型の助成については、今までの「鉄球型」に加え「バネ式」タイプを追加します。	
造幣局跡地防災公園整備事業(防災資器材整備)	新規	41,701	想定される首都直下地震等に備え、区全体の防災拠点となる造幣局跡地防災公園の整備にあわせて、発災時の避難場所や救援物資の受け入れなどに必要な災害時非常用発電機などの防災資器材を整備します。	危機管理担当課長
特定整備路線沿道まちづくり推進事業	拡充	10,000	東長崎駅北口地区の密集住宅の共同化を実現させるため、既存地区計画に定められた高さ制限の見直しや容積率の増加を図る必要があるため、長崎地域の地区計画変更に向けた資料作成、説明会の開催、関係機関との協議を行います。	地域まちづくり担当課長
建築物等耐震化助成事業(ブロック塀等の改善工事費助成)	新規	5,000	平成30年8月に改正した豊島区既設塀等改善工事助成金交付特別措置要綱に基づき、倒壊の危険性があるブロック塀等(擁壁を含む)の所有者に上限200万円とした改修経費を助成します。	建築課
水害対策維持管理経費	新規	2,000	河川氾濫の危険性などを把握するため、現在設置している区内2か所(池袋保健所、高田公園)のうち池袋保健所の設置分について、今後の移転に伴い、道路工事事務所へと移転します。	道路整備課
急傾斜地調査事業	新規	17,248	東京都が、土砂災害防止法に基づく基礎調査の結果において、駒込公園、駒込東公園を土砂災害(特別)警戒区域指定する予定のため、ボーリング調査などの現状調査を実施し、安全確保のための工法検討を行います。	公園緑地課
インターナショナルセーフスクール推進事業	拡充	4,432	※再掲(33ページ参照)	指導課

3. 安全・安心なまちづくり

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯番号)
地域区民ひろば非常通報装置設置事業	拡充	928	区民ひろばの不審者対策として、警察に自動通報できる非常通報装置を、自主運営施設のうち未設置の3施設に設置します。	地域区民ひろば課
区内防犯協会に対する重要政策補助金事業	拡充	1,500	区内防犯協会(池袋防犯協会・目白防犯協会・巣鴨防犯協会)に対する重要政策補助金を増額(50万円×3団体)します。	治安対策担当課
自転車走行空間整備事業	拡充	10,000	平成30年6月に策定された「豊島区自転車走行環境計画」に基づき、区民のニーズや安全性などを踏まえ、必要性の高い区道に自転車ナビライン(自転車の通行を促すための路面表示)を整備します。計画における整備優先順位に基づき関係各所と協議し整備道路の選定を行うことで、区民ニーズの高い道路から走行環境の整備をします。	土木管理課
路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業	拡充	7,730	公園禁煙化による喫煙場所の減少、東京都受動喫煙防止条例による店舗等における喫煙場所の減少の影響により、路上喫煙者の増加が懸念されるため、警備員によるパトロール巡回を公園周辺部分にも拡大します。	環境保全課
路上喫煙・ポイ捨て防止事業	拡充	2,453	公園禁煙化の影響により、さらなる喫煙ルールの啓発が必要となることから、池袋駅周辺での路上喫煙・ポイ捨て防止の周知啓発活動を時間延長して実施します。	
公園等防犯カメラ整備事業(再掲)	新規	8,000	※再掲(23ページ参照)	公園緑地課

その他関連事業…学校防犯カメラHDの更新事業(再掲)(拡充・6,630千円・学務課長)/小学校通学路安全対策事業(再掲)(拡充・2,121千円・学務課長)

【参考】既存継続事業

鉄道駅エレベーター等設置事業費助成事業	継続	12,587	平成29年度より実施。JR駒込駅東口の利用客の利便性の向上を図るため、駒込駅の1・2番線山手線ホームから東口改札口に通じるエレベータの設置工事を行います。	福祉総務課
鉄道駅等バリアフリー推進事業	継続	60,000	鉄道利用時における主に視覚障害者の安全性の向上のため、池袋駅の駅ホームドア整備の助成を行い、バリアフリー化を推進します。平成31年度は、東武東上線のホームドアを設置します。	都市計画課
豊島区無電柱化整備事業	継続	549,261	「防災力の向上」「景観の向上」「安全・快適な歩行空間の創出」の実現に向け、低コスト・工期短縮手法を用いた既存区道の無電柱化を実施していきます。平成31年度は、巣鴨地藏通りの本体工事、学習院椿の坂の引込・連系工事及び道路復旧工事を行います。	道路整備課

4. 多文化共生

外国籍等区民の家族向け動画を配信！

平成31年3月に「豊島区多文化共生基本方針」の策定を予定しています。

平成30年度に、豊島区の外国籍住民の半数近くを占める留学生を対象とし、留学生が実際に「知りたいこと」や「来日前に知っておきたかったこと」について10テーマの動画を配信しました。平成31年度は、外国籍等区民の家族向けの内容で、動画を配信します。

多文化共生推進事業【拡充】 398万円



留学生向け多言語行政動画の一例

外国籍等区民向けにごみ分別・出し方のQRコードシールを貼り出します



外国籍等区民にごみ出しルールを周知するため、一般集積所等の看板にQRコードのシールを貼りつけ、QRコードのリンク先から8言語版に翻訳された「資源回収・ごみ収集のお知らせ」にアクセスできるようにします。

外国人向けごみ分別・出し方QRコード作成事業【新規】 438万円

窓口での外国籍等区民に多言語で対応

年々増加している外国籍等区民のニーズに対応するため、区役所3、4階の窓口にて、タブレット端末によるテレビ電話を活用した多言語翻訳サービスを本格実施します(12言語対応)。

多言語通訳サービス事業【新規】 350万円

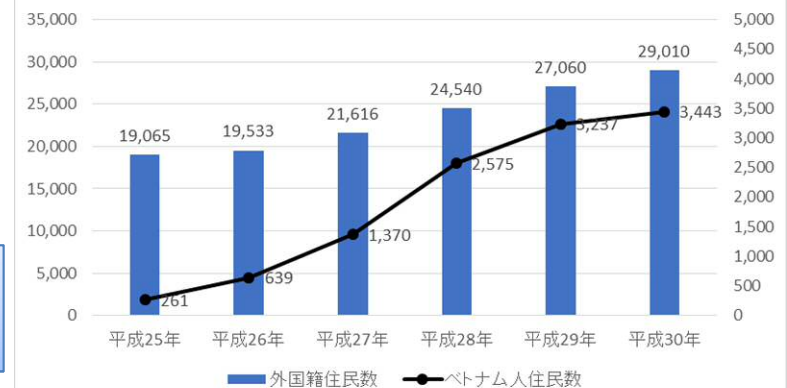


通訳者と直接テレビ電話で会話ができます

急増するベトナム人住民とのより円滑な対話をめざし、税務課でもベトナム人臨時職員を雇用し、制度案内や納付勧奨などを行います。

外国語対応相談員による納付案内事業【新規】294万円

外国籍住民数とベトナム人住民数の推移



5事業
1,568万円

4.多文化共生の推進

(拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を掲載)

事業名	新規・拡充	予算額 (千円)	事業概要	担当課長 (携帯電話)
多文化共生推進事業	拡充	3,979	外国籍等区民の家族向けとして、保育、就学、育児、教育などの生活情報を簡潔にまとめ、7言語（日本語・英語・中国語・ハングル・ベトナム語・ネパール語・ミャンマー語）の字幕入りの動画を作成します。	多文化共生推進 担当課長
外国人向けごみ分別・出し方QRコード作成事業	新規	4,382	外国籍等区民にごみ出しルールを周知するため、一般集積所等の看板にQRコードのシールを貼りつけ、QRコードのリンク先から8言語版に翻訳された「資源回収・ごみ収集のお知らせ」にアクセスできるようにします。	ごみ減量推進課
多言語通訳サービス事業	新規	3,499	昨年試行実施したタブレットによる多言語自動翻訳システムを、税務課・総合窓口課・国民健康保険課・高齢者医療年金課・保育課・子育て支援課において本格導入します。テレビ電話での通訳サービスを用いて、ベトナム語やネパール語を含む12言語に対応します。	税務課
外国語対応相談員による納付案内事業	新規	2,936	急増するベトナム人住民との言語の課題を解決するため、国民健康保険課に続いて税務課でもベトナム人臨時職員を雇用し、ベトナム語での制度案内や納付勧奨などを行います。	収納推進担当課長
ショートメッセージサービス（SMS）を活用した催告	新規	887	催告書送付後の周知や保険証交付に関する案内を一部外国語にも対応したSMSを活用して行います。	国民健康保険課

5. その他の特色ある事業

ガン患者のウィッグ・胸部補正具助成

がん治療に伴い脱毛が生じたがん患者や乳房切除等を行なったがん患者の、治療による容姿の変化が与える精神的苦痛や金銭的な負担を軽減するため、ウィッグや胸部補正具等を購入した場合の費用の一部を助成します。

がん患者のウィッグ・胸部補正具等購入費用助成事業【拡充】 124万円
担当 地域保健課

胃がん・肺がん検診事業

増加する胃・肺がん検診受診希望者へのニーズに応え、早期発見、がん患者の減少と死亡率を減少させるため、検診委託料等の拡充を図ります。胃がんについては現行20歳と30歳を対象に実施しているピロリ菌検査の対象を21～39歳の未受診者に拡大します。



胃がん・肺がん検診事業【拡充】 8,300万円
担当 地域保健課

パートナーシップ制度推進事業

性の多様性を尊重する社会を推進するため、平成31年4月から豊島区における「パートナーシップ制度」を創設します。制度利用対象者への周知に加え、区内全体に多様な性自認・性的指向に関する正確な情報を発信し、理解促進を図るため、シンポジウムを開催するとともに、ちらしやパンフレットの作成等を行います。

パートナーシップ制度推進事業【拡充】 110万円
担当 男女平等推進センター

キャッシュレス決済環境支援事業

東アジア文化都市2019豊島やオリンピック・パラリンピックの開催を控え、インバウンド対応が求められている中、商店街の支払い方法の多様化が望まれています。商店街などのキャッシュレス決済環境整備のため、導入に必要な支援を行います。



キャッシュレス決済環境支援事業【新規】 103万円
担当 生活産業課

働き方改革

(RPA導入・教員の出退勤管理システム導入)

RPA(Robotic Process Automation:業務自動化)ソフトウェアを段階的に導入し、業務効率化を図ります。

RPA導入による働き方改革事業【新規】 270万円
担当 行政経営課
情報管理課

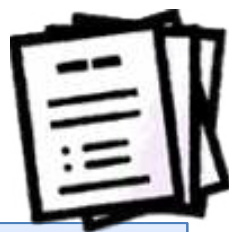
教員の働き方改革の一環として、東京都の補助金を活用し、勤務時間や休暇等を把握・集計できる出退勤管理システムを導入します。

教員の働き方改革事業【新規】 4,000万円
担当 指導課

4月に都内区市町村初の公文書管理条例を

平成31年4月に都内区市町村初の公文書管理条例の制定を目指します。

また、永年保存文書目録を作成し、区の諸活動について、現在及び将来の区民に説明する責務を果たします。



文書管理体制再構築事業【拡充】 2,469万円
担当 総務課

区議会のネット中継に手話通訳を導入

区議会本会議・一般質問などのインターネット中継に手話を導入します。手話が言語であることへの理解の普及に努めるとともに、障害のある方にも分かりやすい議会情報の提供を促進します。



インターネットによる議会中継への手話通訳導入【新規】
623万円 担当 議会総務課

障害者差別解消法施行事業



区は平成30年12月に、手話が言語であることや、視覚障害等それぞれの障害の特性に応じた意思疎通手段の理解の促進と環境づくりなどについて定めた条例を制定しました。「手話言語」と「意思疎通」を一体の条例として制定することは、23区では初の取組みとなります。

条例制定を契機に、障害者差別解消の合理的配慮のため、情報保障機器の設置及び、手話通訳派遣メール申込みシステムを構築します。

障害者差別解消法施行事業【新規】 355万円
担当 障害福祉課

平成31年度 重点事業

はらはら、どきどき、文化がいっぱい。「東アジア文化都市2019豊島」

としま未来文化財団は、豊島区と連携し「東アジア文化都市2019豊島」における
祭事・芸能部門を中心に、年間を通して関連事業を展開します。

第32回 としま能の会

7月15日（月祝） 東京芸術劇場プレイハウス
『本格的な能楽公演の鑑賞機会を創出し、
日本の伝統芸能を普及する。』



区ゆかりの一流の演者
による能楽公演を32回
続けて開催していま
す。

撮影：駒井杜介

伝統芸能@野外公園

9月予定 東池袋中央公園予定

『一夜かぎりの幽玄な能舞台が出現！』



平成30年度実施
伝統芸能
@南池袋公園事業

撮影：駒井杜介

特設野外舞台にて、能楽を上
演します。

【本事業に関する
お問い合わせ】
みらい文化課

第31回 民俗芸能inとしま

11月4日（月振休） 芸術文化劇場

『芸術文化劇場こけら公演。区内の民俗芸能を一挙公開！』

区無形民俗文化財
「長崎獅子舞」
「富士元囃子」
「雑司が谷鬼子母神御会式
万灯練供養」
及び、姉妹都市・秩父市の
「秩父屋台囃子」ほか他地域の特
色ある地域伝統芸能を
招聘し上演します。



撮影：青木司

大田楽 いけぶくろ絵巻

11月10日（日）芸術文化劇場ほか



撮影：前澤秀登

『Hareza一帯を祝祭空間へ！
野外から劇場へ、古の旋律と軽やかな
リズムで絵巻の世界への誘い。』
区在住の能楽師狂言方と泉流の
野村万蔵氏プロデュースによる、
豊島区オリジナルアレンジの
大田楽を上演します。

子どもに見せたい舞台vol.3 『春春～ボムボム～』

7月20日(土)～28日(日) あうるすぽっと

「としまアート夏まつり」メイン企画として韓国作品を翻案し、0歳から大人までの全世代が楽しめる舞台を創作・上演します。



『にゅ～盆踊り』

8月12日(月振休)



撮影: 浦井直志

夏の風物詩「にゅ～盆踊り」の新作を創作します。こどもを踊り手に迎え、盆踊りを展開していきます。

「Bridges to Babylon ～みんなのダンス～」公演

11月20日(水)～23日(土祝)
芸術文化劇場

コンドルズの近藤良平構成・振付による新作ダンス公演です。「祝祭」をテーマに区民も参加して、芸術文化劇場にて上演します。



【本事業に関するお問い合わせ】
舞台芸術交流センター

日本・中国・韓国の様々な文化を学ぶ文化カレッジ

地域文化創造館5館では、東アジア文化都市2019豊島の開催にともない、日本はもとより中国と韓国の様々な文化を学べる文化カレッジを実施し、東アジア域内の相互理解を今まで以上に促進します。



【主な内容】

- ・初心者のための太極拳
- ・韓国パッチワーク「ポシャギ」
- ・中国の養生料理入門
- ・はじめての文楽～アジアの人形劇～
- ・魅力発見！K文学入門講座
- ・おせち料理を味わう
- ・はじめての囲碁
- ・楽しい韓国語「韓国語を基礎から学ぼう」

【本事業に関するお問い合わせ】
地域コミュニティ創造課

としま 新時代へ！2019



©豊島区・アニメイト

「この街の主演は、君。」 池袋PRアニメ配信中！

平成31年2月/豊島区政策経営部広報課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
Tel (03) 3981-1111(代表)